

TOKYO HEADLINEの読者のみんなに政治にももっと興味を持ってほしいということで始めた「永田町DE Interview」3回目は、米国ハーバード大学大学院を卒業後、読売新聞社の政治部記者を経て、マッキンゼー社で経営コンサルタントも務めるなど異色の経歴を持つ自民党の衆議院議員の茂木としみつ議員。

国政に参画して13年。この間、IT担当大臣や外務副大臣を歴任している茂木議員は「外交」「経済」「教育・人づくり」の3つを柱として活動を続けている。

「まず外交というなら、これからは日米、日中という2国間よりも多国間の外交をきちんとやっていかなければと思います。今、世界では地域経済圏の形成が進んでいます。アジアでも地域各国をEUのようにまとめていくという東アジア共同体構想を日本が打ち出して引っ張っていくことが必要です。そこに中国やインドやオーストラリアも取り込んで

“正解はひとつではない”デュアル思考を持ってほしい
 “パイからマルチへ、2国間から多国間へ”というのがこれからの外交のキーワードになっていくと思います。経済の問題としては次の時代のリーディング産業を作っていく必要が大きい。これまでは自動車と家電がそうなのですが、そろそろ21世紀を引っ張る新しい次の産業ができないと日本経済全体も伸びないんですよ。それはなにかということITだろうなど。これからIT革命は第2幕に入っていくわけで、デジタル家電や携帯など日本が強い分野を生かして競争力を強化し、ITを100兆円規

模のリーディング産業にしていきたいという目標です。そして3つ目の教育・人づくりの問題なんです。今日本では年金、医療とか福祉などの社会保障費に88兆円を使っている。そのお金がどこに行っているかという60兆円が高齢者給付金なんです。これに対して子育て支援のための児童家庭給付金はわずか3兆2000億。20：1なんです。お年寄りを支援しないというわけではないんですけど、もう少しこの比率をなんとかしないと、と思うんです

今一番気になるニュースを聞いてみた。インタビューをしたのは民主党に小沢党首が誕生し、千葉7区の補選が行われんとするところ。しかし茂木議員の興味は遠く中東、イラクの地にあった。「イラクですね。なぜ今ごろイラクか」というと、これはニュースの内外格差なんです。日本ではみんな戦争が終わったと思ってます。しかしCNNを見るとイラクでは戦争をやってます。NHKをつけると戦争は終わっている。パレスチナとイスラエルにしても、まさにオンゴーイングの紛争が展開されている。日本では全く注目されていなくても海外のメディアを通じて見ると

非常に気になるニュースが多いと思います」茂木議員はこうも続ける。これは本紙の読者へのメッセージ。

「ニュースでもなんでもそうなんですけど、“見比べてほしい”と思います。これから必要なのは“正解はひとつではない”ということ、デュアル思考を持つということですね。(前出の)イラク戦争の報道に関して、どっちが真実なんだろうかということを考え、情報を収集し、自分で判断する。ひとつの角度からで全部決め付けない。こういうことが僕は重要なんじゃないかなと思います。教育にしてもこれまでの日本の教育というのは覚えることが中心で、あまり多角的に考えるということをしてこなかった。

テストにしても正解はひとつ。例えば鎌倉幕府がいつできたか!? みんな“いい国作ろう鎌倉幕府”って覚えて、1192年が正解。これ以外は不正解。でも、日本の社会形態でいえば“公家社会が終わって武家社会に入ったとき”これでも答えとしては正しいと思うんです。世界史に広げれば12世紀末はヨーロッパで第二次十字軍が派遣された時期ですよ。鎌倉幕府ができたのは十字軍遠征のころ、これも正しい答えだと思うんです。1192年じゃない答えがいろいろあるんです。正解はひとつではない、成功もひとつではない。文化や言語も。国際化の中で英語を第2公用語にしてもいい。日本もこれからデュアル思考の多様な豊かな社会を作っていくことが大切だと思います



います」では小泉総理に一言。「小泉総理のこの5年で構造改革が大きく進んだと思います。ひとまず“お疲れ様でした”の一言ですね。でも新しい『国のかたち』作りでは道州制をはじめ、まだやり残したことはいろいろあるので次の内閣でしっかり進めていかなければならないなと思います」

政治的人間
HOMO POLITICA
 政治家・茂木としみつ

政治家・茂木としみつを知るための3つの言葉

① 政策ポリシー
 「外交」「経済」「教育・人づくり」を3つの柱として活動中。

② 総理に一言
 「お疲れ様でした(笑)」

③ 気になるニュース
 「イラクです。あそこではまだ戦争が続いています」